

様式1(主な取組)

活動指標名	委託訓練修了者の就職率75%				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	84.6%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0	未着手	母子家庭の母等を対象とする職業訓練コースを公募したが、応募企業がなく、コースの設定ができなかった。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										母子家庭の母等でも、他に設定している訓練コースを受講できる。 そのため、母子家庭の母等に特化した訓練コースでは、受講生が集まらずに閉講となる可能性が高いと考え、応募企業がないものとする。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> これまで母子家庭の母等コースを実施したことのある民間教育訓練機関に対しヒアリングを行い、当該コースの問題点等を確認する。 また、一般コースで職業訓練を実施している企業に対しても、企画提案公募説明会等において、当該コースの設定検討を依頼する。 						<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大により、企画提案公募説明会が実施できず、公募内容の周知拡大に努めたが、母子家庭の母等コースは応募企業がなく、コース設定ができなかった。また、過去に母子家庭の母等コースを実施したことのある民間教育訓練機関に対するヒアリングも実施できなかった。 代替の措置として、子育て世帯の親の就労を支援するため、一般求職者向けの託児サービス付き訓練コースを公募し、2コース設定した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・母子家庭の母等コースの受託要件(訓練カリキュラム、委託料等)は、国の実施要領により定められており、県の施策としてカリキュラムの簡素化や委託料の増等ができない。

○外部環境の変化

・母子家庭の母等コースは、平成30年度は1コース設定し、定員20名中11名の応募があり開講した。令和元年度は1コース設定したものの応募者がなく閉講となった。入校者が開講できる人数を下回った場合、訓練企業の負担が増加することから、同コースにおいて企業、受講生ともに応募の確保で、厳しい状況が続いている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・民間教育訓練機関等に対し、母子家庭の母等コースには対象者に必要とされる支援等があることを周知、広報に努める。
- ・代替の措置として、一般求職者向けの託児サービス付き訓練コースの設定に努め、子育て世帯の親の就労を支援する。

4 取組の改善案 (Action)

- ・これまで母子家庭の母等コースを実施したことのある民間教育訓練機関等に対してヒアリングを行い、当該コースの企画提案に向けて課題整理を行う。
- ・また、一般求職者向けの訓練を実施している民間教育訓練機関等に対し、母子家庭の母等コースは対象者に必要とされる支援が設定されていることを説明し、令和5年度の企画公募提案に向けて検討を依頼するとともに、託児サービス付き訓練コースの設定を促す。